

「EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者」集計表  
～【介護福祉士候補者 受入施設 回答】～

**問1 貴施設は以下のどれに当たりますか。**

	回答数	構成比
(1) 病院	4	4.3%
(2) 特別養護老人ホーム	59	62.8%
(3) 老人保健施設	22	23.4%
(4) 障害者施設	4	4.3%
(5) 介護療養型医療施設	2	2.1%
(6) その他	0	0.0%
無回答	3	3.2%
計	94	100.0%

**問2 受け入れていらっしゃる候補者は、以下のどれにあたりますか。**

	回答数	構成比
(1) インドネシア人第4陣（平成23年来日）介護福祉士候補者	0	0.0%
(2) インドネシア人第4陣（平成23年来日）EPA介護福祉士	3	3.2%
(3) インドネシア人第5陣（平成24年来日）介護福祉士候補者	10	10.6%
(4) インドネシア人第6陣（平成25年来日）介護福祉士候補者	13	13.8%
(5) インドネシア人第7陣（平成26年来日）介護福祉士候補者	10	10.6%
(6) フィリピン人第3陣（平成23年来日）介護福祉士候補者	8	8.5%
(7) フィリピン人第3陣（平成23年来日）EPA介護福祉士	2	2.1%
(8) フィリピン人第4陣（平成24年来日）介護福祉士候補者	14	14.9%
(9) フィリピン人第5陣（平成25年来日）看護師候補者	1	1.1%
(10) フィリピン人第5陣（平成25年来日）介護福祉士候補者	7	1.1%
(11) フィリピン人第6陣（平成26年来日）看護師候補者	2	2.1%
(12) フィリピン人第6陣（平成26年来日）介護福祉士候補者	8	8.5%
(13) ベトナム人第1陣（平成26年来日）介護福祉士候補者	8	8.5%
(14) ベトナム人第2陣（平成27年来日）介護福祉士候補者	8	8.5%
無回答	0	0.0%
計	94	100.0%

**問3 その中で、既に帰国した候補者がいる場合はご記入ください。**

	回答数	構成比
(1) 既に帰国した候補者がいる→ 問4へ	19	20.2%
(2) 帰国した候補者はいない→ 問6へ	60	63.8%
無回答	15	16.0%
計	94	100.0%

**問4 帰国についての申し出はどちらからありましたか。**

	回答数	構成比
(1) 候補者	20	95.2%
(2) 受入れ病院・施設	0	0.0%
(3) 双方	1	2.2%
無回答	0	0.0%
計	21	100.0%

**問5 帰国した候補者の帰国理由をいくつかでもお選びください。(複数回答)**

	回答数	構成比
(1) 本人の健康上の理由	23	109.5%
(2) 家族に関する理由	14	66.7%
(3) 日本の生活になじめなかったため	5	23.8%
(4) 職場環境になじめなかったため	1	4.8%
(5) 収入や待遇が期待と違っていたため	2	9.5%
(6) 仕事の内容が期待と違っていたため	1	4.8%
(7) 国家試験に合格できないと判断したため	1	4.8%
(8) EPA期間満了	2	9.5%
(9) その他	1	4.8%
無回答	0	0.0%
計	50	238.1%

(9) その他・・・1

・仕事と勉強の両立ができない。

**問6-1 候補者の受入理由:国際親善**

	回答数	構成比
(1) あてはまる	29	30.9%
(2) どちらかといえばあてはまる	31	33.0%
(3) どちらともいえない	14	14.9%
(4) どちらかといえばあてはまらない	2	2.1%
(5) あてはまらない	6	6.4%
無回答	12	12.8%
計	94	100.0%

**問6-2 候補者の受入理由:人材確保**

	回答数	構成比
(1) あてはまる	56	59.6%
(2) どちらかといえばあてはまる	25	26.6%
(3) どちらともいえない	8	8.5%
(4) どちらかといえばあてはまらない	1	1.1%
(5) あてはまらない	4	4.3%
無回答	0	0.0%
計	94	100.0%

**問6-3 候補者の受入理由:将来の人材育成**

	回答数	構成比
(1) あてはまる	53	56.4%
(2) どちらかといえばあてはまる	23	24.5%
(3) どちらともいえない	8	8.5%
(4) どちらかといえばあてはまらない	2	2.1%
(5) あてはまらない	3	3.2%
無回答	5	5.3%
計	94	100.0%

**問6-4 候補者の受入理由:国際事業展開準備**

	回答数	回答数/86施設 構成比
(1) あてはまる	12	12.8%
(2) どちらかといえばあてはまる	10	10.6%
(3) どちらともいえない	21	22.3%
(4) どちらかといえばあてはまらない	10	10.6%
(5) あてはまらない	28	29.8%
無回答	13	13.8%
計	94	100.0%

### 問7-1 満足度:国際親善

	回答数	回答数/86施設 構成比
(1) 満足	15	16.0%
(2) どちらかといえば満足	35	37.2%
(3) どちらともいえない	26	27.7%
(4) どちらかといえば不満	0	0.0%
(5) 不満	1	1.1%
(6) もともと期待していない	6	6.4%
無回答	11	11.7%
計	94	100.0%

### 問7-2 満足度:人材確保

	回答数	回答数/86施設 構成比
(1) 満足	23	24.5%
(2) どちらかといえば満足	41	43.6%
(3) どちらともいえない	21	22.3%
(4) どちらかといえば不満	4	4.3%
(5) 不満	0	0.0%
(6) もともと期待していない	2	2.1%
無回答	3	3.2%
計	94	100.0%

### 問7-3 満足度:将来の人材育成

	回答数	構成比
(1) 満足	19	24.5%
(2) どちらかといえば満足	31	43.6%
(3) どちらともいえない	31	22.3%
(4) どちらかといえば不満	3	4.3%
(5) 不満	0	0.0%
(6) もともと期待していない	2	2.1%
無回答	8	3.2%
計	94	100.0%

### 問7-4 満足度:国際事業展開準備

	回答数	構成比
(1) 満足	4	4.3%
(2) どちらかといえば満足	14	14.9%
(3) どちらともいえない	35	37.2%
(4) どちらかといえば不満	0	0.0%
(5) 不満	2	2.1%
(6) もともと期待していない	24	25.5%
無回答	15	16.0%
計	94	100.0%

### 問8 候補者の現在の日本語能力は、以下のどれに当たりますか。(複数回答)

※帰国者、合格者(EPA看護師、EPA介護福祉士)は除く

	回答数	構成比
(1) 国家試験受験に十分な日本語能力がある	69	30.0%
(2) 業務に差し支えない日本語能力がある	179	77.8%
(3) 記録作成に必要な読み書きができる	76	33.0%
(4) 会話は問題ないが、読み書きには不安がある	121	52.6%
(5) 会話は不十分ではあるが、意思疎通は可能である	61	26.5%
(6) 日本語によるコミュニケーションが困難である	12	5.2%
無回答	5	2.2%
計	523	237.4%

## 問10 候補者を選ぶ基準は何ですか。

	回答数	構成比
(1) 高い日本語能力（日本語能力試験N2以上）	27	28.7%
(2) 人柄、性格	53	56.4%
(3) その他	8	8.5%
無回答	6	6.4%
計	94	100.0%

### (3) その他…8

- ・資格取得への強い気持ちと滞在期間
- ・本人の合格への意欲や意思が強い。
- ・日本滞在期間の長さ、年齢
- ・資格を取りたいという思い。積極性とコミュニケーション能力。
- ・日本語能力N3程度
- ・人柄・性格・育った環境
- ・フィリピンN4以上、ベトナムN3以上
- ・笑顔・元気
- ・長く日本で働いて頂けるか

などのその他の理由があげられました。

## 問12 候補者が介護福祉士国家試験に合格をした場合（合格している場合も含める）、引き続き介護福祉士として就労をしてもらうことを望まれますか？

	回答数	構成比
(1) 最低でも3年～5年は介護福祉士として務めてほしい	37	39.4%
(2) このまま日本に定住をして、介護福祉士としてのキャリアを伸ばしてほしい	25	26.6%
(3) 本人が望むのであれば、今後も介護福祉士として務めてほしい	24	25.5%
(4) 介護福祉士として務めてほしいと思うが、引き続き就労してもらうことは難しい。→問13へ	3	3.2%
無回答	5	5.3%
計	94	100.0%

## 問13 問12にて引き続き就労してもらうのは難しいとお答えになられた方にお聞きします。就労させることが難しい理由をお聞かせください。（自由記述）

	回答数	構成比
(1) 記述有	4	100.0%
無回答	0	0.0%
計	4	100.0%

### (!)記述有…3

- ・候補生達は日本に来る前から「3年」と期限を決めてしまっている。又、その事を簡単に日本人に伝えてしまう。「3年後はどうしますか？」→「国に帰ります」
- ・本人の帰国又は他施設での就労希望。
- ・複数の候補生が在籍している場合、中にはだんだん問題のケースも出て来て、その場合継続雇用を断るケースもある。業務中の睡眠(利用者のベッドにて)、急な欠勤等(複数回)
- ・就労態度が悪く(嫌な仕事はしない。注意を聞かない。すぐ感情的になる。)、職場での人間関係がうまくいっていない候補生がいる。そのような候補生を引き続きEPA介護福祉士として受入れる心の余裕は施設全体としてない。

問16 総合的にみて、EPA候補者を受け入れたことに満足していますか。

	回答数	構成比
(1) 満足	23	24.5%
(2) どちらかといえば満足	36	38.3%
(3) どちらともいえない	19	20.2%
(4) どちらかといえば不満	3	3.2%
(5) 不満	0	0.0%
無回答	13	13.8%
計	94	100.0%

問20 技能実習生制度による外国人介護人材の受入についてどう思われますか。(在留期間3年とします)(複数回答者あり)

	回答数	回答数/86施設 構成比
(1) 賛成、積極的に技能実習生制度で受入れをしたい。	9	4.7%
(2) 賛成、受入れをしたいが、EPA候補者と併行して受け入れていきたい。	26	13.7%
(3) 賛成ではあるが、EPA協定締結国以外の国を対象としたい。	2	1.1%
(4) 賛成ではあるが、EPA候補者同様母国にて医療関係の学科を卒業している者が良い。	24	12.6%
(5) 賛成ではあるが、日本語能力が心配。	55	28.9%
(6) 賛成ではあるが、在留期間が短いと思う。	19	10.0%
(7) 反対、介護人材不足ではあるが、介護職員の賃金低下イメージへの影響を懸念する。	19	10.0%
(8) 反対、現在求められる介護ニーズは認知症ケア、ターミナルケア等知識が必要とされているため、単純労働としての人材受け入れには不安がある。	15	7.9%
(9) 反対、可能な限り日本人職員で施設を運営していきたい。	1	0.5%
(10) 反対、その他の理由	6	3.2%
無回答	14	7.4%
計	190	100.0%

(10)(理由)

- ・不明な点がまだまだ多く透明性に疑問がある。外国人職員を受け入れること自体は反対ではない。
- ・技能実習制度がわかりません。(事故等の責任の所在や賃金など待遇面その他色々あります。)
- ・日本語能力があれば良いが、今回受け入れてN3以上であっても介護の戦力としては時間がかかり、職員の指導にも手間がかかる。労働力としてこられた場合介護の質の低下につながる。

問20 その他 ご自由にご意見をお書きください。

	回答数	回答数/86施設 構成比
(1) 記述有	20	21.3%
無回答	74	78.7%
計	94	100.0%

## 自由記述

(全部掲載)

施設自由記述の傾向・・・自由記述に多かったコメント

- ① 制度の見直し、国等関係機関への要望や意見、技能実習制度について
- ② 外国人看護師・介護福祉士候補者者への叱咤激励
- ③ その他

### ① 制度の見直し、国等関係機関への要望や意見、技能実習制度について

・介護療養型医療施設が廃止(H29年度末)になったら困ります。EPAができません。働きかけをお願いします。

・受け入れにあたり、施設の負担も大きいため、今後の展開を考えるともう少し助成制度が充実すれば良いと思う。今後海外との受け入れの促進させるために公益財団の協力を得る様なことが必要ではないか。

・日本はこれから支援の必要な高齢者が増えていく。そのなかで外国人の方に働いてもらわなければならない状況になってきている。しかし現状では外国人が介護従事者として働きながら勉強していくには支援等が少ないと思われる。日本で介護従事者として働いてもらうことによる経済効果は高いと思われるので、もっと何らかの支援を行っていく必要があると思われる。

・外国人支援者なる人々が自分たちの精神的満足のため候補生と事業所の問題に割り込んで問題を大きくしたり、目的以外で来日してくる候補生も多く、制度をもう一度整理する時期だと感じている。

・当法人では平成20年～24年までの介護福祉士候補者を6名インドネシアより採用し、4名が国家試験に合格いたしました。4名共に結婚等の理由でインドネシアに帰国してしまいました。日本にいた間は良く頑張り日本人職員にも良い影響を与えて下さいましたが、法人側も国家試験に合格させる為にかなりの費用と人材を投入してきましたので歩留りが0%という事で今後は受入についての反対意見が強くなってきております。合格してせめて3年～5年位は法人に残って下さる良い策はないものなのでしょうか？

・いつもお世話になっております。当法人に勤務している5名の候補者は皆よく頑張ってくれています。当法人に限らずEPA受入に伴う様々な課題はあると思いますが、現在の介護・福祉業界の人材不足、低賃金、過労働等日本人スタッフの条件、環境も充分ではない中、EPAとの協働に一番の問題ではないかと考えます。単に外国人の受入ではなく、日本の福祉の仕組みをまずは改善していくことが重要であり、それに伴いEPA受入のゆとりも生まれるのではないかと思います。

・政府の思惑が優先しすぎており、人が移動している事への責任を見直す時期にきていると考える。

・技能実習生に関しては必要経費や調整機関の信用性によっては今後検討するかもしれないが、現時点ではEPA介護福祉士候補者のみの受入を考えている。

・以前フィリピンの介護福祉士候補者を受入れ、2名とも合格はしましたが、1名はすぐに退職(妊娠)、もう1名も1年働き帰国してしまいましたが理由は「子ども(9才)と夫を残してきており、2人とも日本語が出来ない為帰る」との事です。資格取得後の制度の整備をしっかりして頂かないと、せっかく時間をかけ教えても続きません。候補者の家族のサポート等をお願いします。

・候補者本人は明るく仕事に取り組んでいるが、介護職の場合資格を取得した後に正職員登用となるので、EPAからの候補者が即正職員として採用となるので日本人の他の介護職から不満の声が出る等の支障が有る。

・人材が不足しているため採用は必要かと思われるが、EPA・技能実習生 統一しなければいけない条件があると思われる。日本語能力は最低でもレベル3をクリアできていると現場ではとても助かります。

### ② 外国人看護師・介護福祉士候補者への叱咤激励

・現在6名受け入れているが勉強時間も業務内に確保したいがだんだんと難しくなっている。また外国人職員も合格への意識が低いので自主的な勉強を積極的には行っていない。仕事でつかれてあまり勉強できないなど。フォローもしたいが受け入れる職員も初めてなので行きあたりばったりとなってしまう。もっと受け入れる側を勉強していきたいとおもいます。

・今迄の受入者に関しては非常に満足しています。今後も受入前の事前教育をしっかりと行っていただきたいと思っております。

・3年で国家試験に合格してもしなくても帰国するという事を口にしないで欲しいです。職員は一生懸命指導しています。モチベーションを下げる一言になります。

・家族等のやむをえない理由を除けば、途中帰国は原則ないと有難いと思います。

・EPAでも技能実習でもよいので、人柄よくやる気覚悟のある人を求めます。

・現在の介護ニーズにはほんじんでも十分に対応できていない状況がある中(人手不足のため)、それに外国人が対応できるためには相当高い日本語能力が必要であると感じる。介護の知識・技術を身につけるためには、日本語能力の高さがなければ中途半端に身につけて働く事になる。(介護の仕事は専門性非常に高く、外国人であっても相当なレベルのものを求めたい)

・ほとんどの人が3年位で帰国を考えているようである。当人としては日本での就労と帰国後の就職活動の段階あるいは、出稼ぎ的感覚の人が多いのではと感じられる。

・インドネシア人候補生を受入れて丸2年が経とうとしているが、3人とも今では現場で常勤1としてカウントしており、戦力となっています。しかしながら、国家資格取得となると指導する職員の負担が大きすぎて満足に行く指導を行なえていないのが現状です。現場で困らない程度の専門用語理解していれば、資格がなくても働き続けられる技能実習生制度の方が介護現場は大歓迎です。

・国家試験に不合格でも人柄が良く、仕事ができる人なら日本にいてほしいし、一緒に働きたい。逆に勉強ができて帰属感がなければ、受入側の日本人職員のモチベーション低下につながる。EPAに対するイメージも悪くなってしまう。

・国籍関係なく大切なのは「人柄」とその人の「やる気」だと思う。人柄が良くやる気のある候補生と一緒に頑張りたい。

・今後も外国人材には期待したい。山村では生活支援のために、受入人数に限りがあるため、市外地域では背曲的に受入れて欲しい。

### ③その他

いつもお世話なっております。